
子夜

伊神讖

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者また
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

子夜

【ZZマーク】

N8751F

【作者名】

伊神識

【あらすじ】

私が用意した三つの夏の空間を楽しみください。

この話は自分が昨年8月に書いた日記みたいなもので、冬の今とは違い、汗ばむ昨年の

夏を思い出すものですね。

近頃、翌日の試験のために、夜遅くまで教科書と睨み合ひことが多くなつた。子夜を過

ぎれば、出かけて気分転換をするのがいつの間にか、毎日続くようになつた。明かりを消

し、部屋から出れば、外は深夜に静まりかえり、昼間の濁んだ熱気もすっかりどこかに消

えた。

街灯の途絶える夜道を照らす優しい光に気づき、夜空に浮かぶ月を見上げる。「満月

か」と言葉を漏らし、あることに気づく。炎天下の昼間を蒸す熱気
に蔽われ、人気のなく

なつた今に現れるもの。深夜にしかしない独特のにおいが四方に満

ち溢れ、街に染み込ん

でいき、すべてをなだらむ空間があった。

その空間の先に、強く現実味を持った光が見えてくる。行き着く場は寝る間をも惜し

む、人工的な異空間だつた。中に入り、寒いほどひの空氣に身を包まれ、彩れた棚に一通り

目を通したあと、何も買わずにコンビニを出る。背後から放たれた蛍光灯の光に照らされ

た道を戻り、決して明るくはない月明かりに移つていぐと同時に、先ほどの身を包むよつ

な違和感が抜けていく。代わりに、自分の体が今居るこの静かな空間の所属物に同化して

いく。そう間もなく、アパートにある自分の部屋の前に立つ。鍵を挿し込んだまま、この

先に広がる空間に入るのを躊躇いながら、鍵を回した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8751f/>

子夜

2011年1月15日20時51分発行